



2016年3月31日

パワーシフト・キャンペーン

プレスリリース「少し高くても自然エネルギーを選びたい」

パワーシフト宣言 3600 人の声

いよいよ 4 月から電力小売全面自由化、大きな変化が始まります。環境団体や消費者団体などで運営するパワーシフト・キャンペーンは、消費者の選択による再生可能エネルギー社会へのシフトを目指して 2015 年 3 月に発足しました。このたび、イベントや勉強会、ウェブサイト上で集めてきた「パワーシフト宣言（自然エネルギー買いたい宣言）」について、下記のように中間取りまとめを行いました。

パワーシフト・キャンペーンに参加している多くの市民の中でも、特に関心の高い層の声です。3600 人超の参加者のうち、半数近くが「少々高くてもよい」と回答しています。

2016 年 4 月の段階では、再生可能エネルギーを中心とした供給を開始できる電力会社は少数です。しかし、その方向を目指す電力会社は各地に多数現れてきています。キャンペーンでは、市民や消費者に対して現状を共有し、具体的な選択に結びつけていきたいと考えています。安さだけでなく、どのような社会をつくっていくのか、ビジョンを持った電力会社を応援し、そのような電力会社を選択する消費者を増やすために引き続き取り組みます。

－ 記 －

<概要> 「少し高くても自然エネルギーを選びたい」パワーシフト宣言 3600 人の声

- ・参加者数： 2016年3月30日現在 3,631名
※キャンペーンのイベント等への参加者数や情報リーチ数に比べれば少数。情報入力ハードルがあることも考えられる。
- ・実施期間： 2015年3月9日～2016年3月末（中間とりまとめ）
今後も継続予定
- ・呼びかけ方法： パワーシフト・キャンペーンウェブサイト、SNS
各地のイベント・勉強会など
- ・集計項目： 電力エリア別参加者数
契約電力（アンペア数相当）
月々の使用電力量（平均）
電気料金への希望
コメント（任意）
- ・約半数の 49%が、「今より少々高くてもよい」と回答。
- ・とくに、電気代月 5000 円未満の世帯では、61%が「少々高くてもよい」としている。

連絡先：パワーシフト・キャンペーン事務局（FoE Japan 内、吉田） <http://power-shift.org>

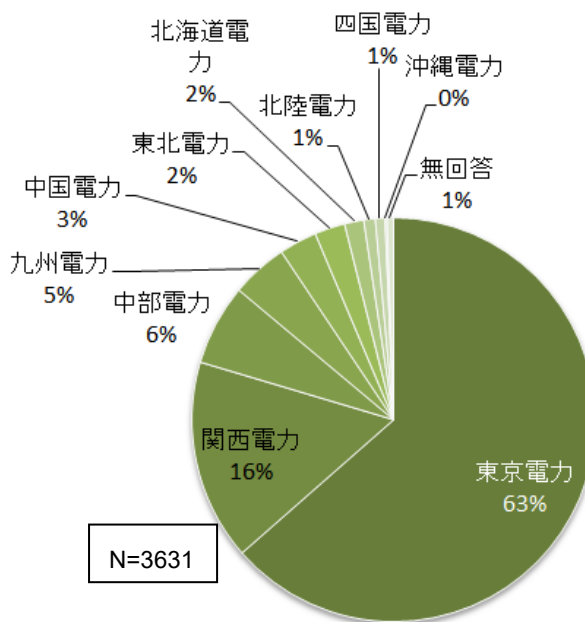
TEL: 03-6909-5983 FAX: 03-6909-5986 Email: info@power-shift.org

「少し高くても自然エネルギーを選びたい」パワーシフト宣言 3600 人の声

- ・「パワーシフト宣言（自然エネルギー買いたい宣言）」参加者数： 3631 名
（2016 年 3 月末現在）
- ・実施期間： 2015 年 3 月 9 日～2016 年 3 月末（中間とりまとめ）※今後も継続予定
- ・呼びかけ方法： パワーシフト・キャンペーンウェブサイト、SNS
各地のイベント・勉強会など

1. 地域（電力エリア）別参加者数

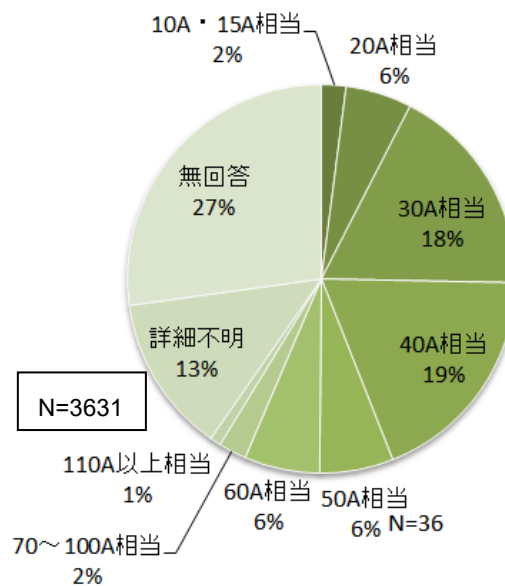
電力エリア	参加者数
東京電力管内	2306
関西電力管内	585
中部電力管内	236
九州電力管内	164
中国電力管内	110
東北電力管内	88
北海道電力管内	56
北陸電力管内	33
四国電力管内	28
沖縄電力管内	6
無回答	19
総計	3631



★2016 年 3 月現在では東京電力管内での活動が多いため参加者も多い。今後も各地で展開予定。

2. 電力契約（アンペア数相当）

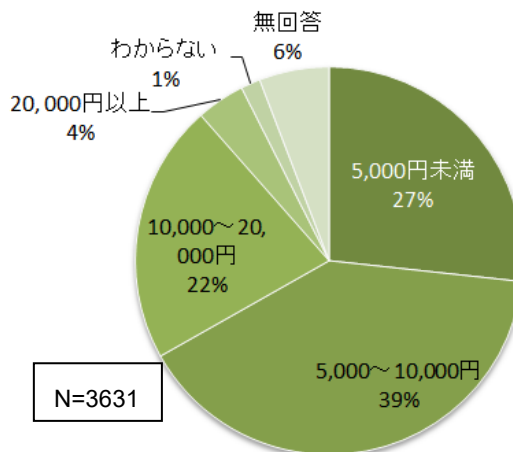
電力契約	参加者数
10A・15A 相当	74
20A 相当	200
30A 相当	645
40A 相当	679
50A 相当	223
60A 相当	228
70～100A 相当	84
110A 以上相当	33
詳細不明	478
無回答	987
総計	3631



※自由回答のため、表記にばらつきがあり、アンペア数相当が不明な記述も多数みられる。

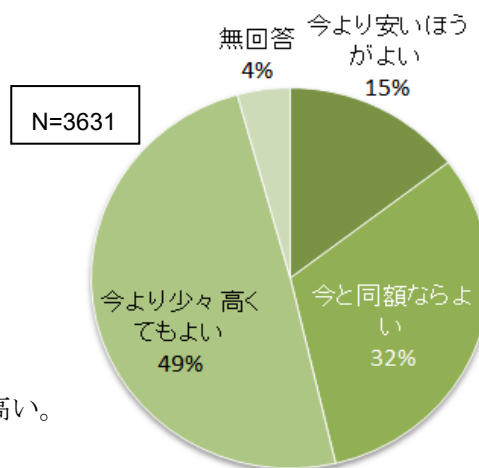
3. 月々の使用電力量（平均）

金額	参加者数
5,000円未満	970
5,000～10,000円	1456
10,000～20,000円	787
20,000円以上	147
わからない	59
無回答	212
総計	3631



4. 電気料金に対する希望

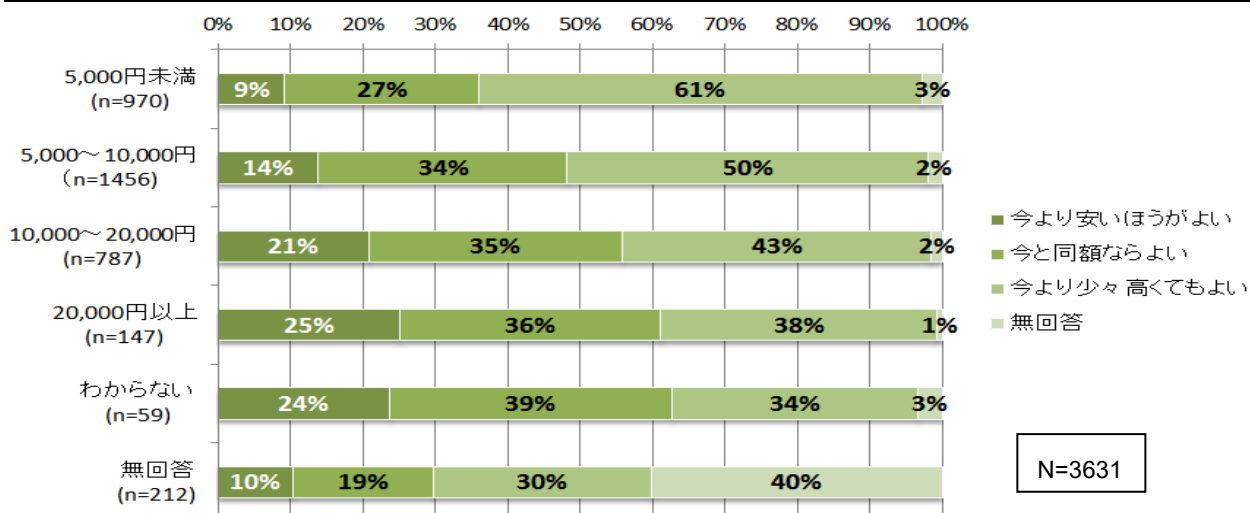
希望	参加者数
今より安いほうがよい	530
今と同額ならよい	1153
今より少々高くてもよい	1792
無回答	156
総計	3631



★「今より少々高くてもよい」が49%（1792名）と高い。

5. 「月々の使用電力量」と「電気料金に対する希望」のクロス集計

	今より安いほうがよい	今と同額ならよい	今より少々高くてもよい	無回答	総計
5,000円未満	90(9%)	260(27%)	593(61%)	27(3%)	970
5,000～10,000円	203(14%)	500(34%)	724(50%)	29(2%)	1456
10,000～20,000円	164(21%)	276(35%)	335(43%)	12(2%)	787
20,000円以上	37(25%)	53(36%)	56(38%)	1(1%)	147
わからない	14(24%)	23(39%)	20(34%)	2(3%)	59
(空白)	22(10%)	41(19%)	64(30%)	85(40%)	212
総計	530	1153	1792	156	3631



★特に電気代5000円未満の人で、「今より少々高くてもよい」との回答が多くなっている。

6. コメント（抜粋） ※性別は氏名より推定

- ・省エネでエネルギー減を図っている者にとって、エネルギー大量使用の方が恩恵を受ける内容は絶対おかしい。又、電源内容の開示義務付けを。(岡山県、女性、5,000円未満、今より安いほうがよい)
- ・「少々高くても良い」といっても、1.5倍くらいまでに抑えてくれると嬉しい。(神奈川県、男性、5,000円未満、今より少々高くてもよい)
- ・電気をほとんど使わない家庭に優しい料金体系があると幸いです。(愛知県、男性、5,000円未満、今より少々高くてもよい)
- ・福島在住です、太陽光発電でまかなっています。原発はいりません。原発の恩恵が全くない我々は被害者としか言いようがありません。(福島県、男性、5,000円未満、今より少々高くてもよい)
- ・同額かそれ以下ならなおよいが、多少高くても原発がなくなることへの協力になるのなら、他の電力会社と契約したいです。(神奈川県、女性、5,000～10,000円、今と同額ならよい)
- ・再生可能エネルギーの供給割合が高く、地域に貢献している電力会社を選択したい。(神奈川県、男性、5,000～10,000円、今と同額ならよい)
- ・原発に反対したいけれど、どうしたらいいの??と思い、ここに辿り着きました。ドケチな私ですが、ここは、お金の使いどころかなと思います。でも、たとえ原発由来の電力でなくても(再エネだとしても)、使いすぎはやはり地球に負担をかける事になるのよね。再エネから、さらに省エネの方向にシフトして欲しいと願っています。(京都府、女性、5,000～10,000円、今より少々高くてもよい)
- ・原発のコスト考えたら、最終的には今より安くなるべきだと思っています。そして誰もが今より安いことで簡単に行動してくれるようになります。(群馬県、女性、5,000～10,000円、今と同額ならよい)
- ・電源は再生エネ割合が高ければ100%でなくてもOK。ピーク時節電協力への料金メニューが欲しい(ダイヤモンドレスポンス)。原発電力を供給する会社はNG。(東京都、女性、5,000～10,000円、今と同額ならよい)
- ・原発再稼働と地球温暖化への阻止活動への協力をしたい。価格への希望については、目先の安価料金より総合的な安価料金をこの活動によって学びたい。(鹿児島県、男性、5,000～10,000円、今と同額ならよい)
- ・価格と電気の由来(風力、水力、バイオマス、PVなど)の透明性があれば、高くても買う可能性あり。色々な可能性を示していただけると幸いです。(埼玉県、男性、5,000～10,000円、今と同額ならよい)
- ・電気代2倍くらいまでなら払います。とにかく自然エネルギーを使いたいです。(神奈川県、男性、5,000～10,000円、今より少々高くてもよい)
- ・漠然とですが、脱原発を思う以上、自然エネルギーにシフトしたいと考えます。子どもたちのために。ただ今の生活も大事で値上げは厳しいです。多少高くなるようならプランなどを充実してほしいです。(埼

玉県、女性、5,000～10,000 円、今と同額ならよい)

・どのような事業者がどの地域で自然エネルギーによる事業をやっているのか、知りたい。また各事業者のエネルギー比率を知りたい。(山梨県、男性、5,000～10,000 円、今より少々高くてもよい)

・再生エネルギーへの転換を今しなければ、環境問題の解決はますます難しくなると思います。電力自由化といいながら、そうした自然エネルギーを選択したい者にとってはあまりに情報が少ないと感じています。(兵庫県、女性、5,000～10,000 円、今より少々高くてもよい)

・今だけでなく将来に渡って安全な再生可能エネルギーを使いたいと思っています。(秋田県、女性、10,000～20,000 円、今より少々高くてもよい)

・電力を選べるなら、再生可能エネルギーを使いたい。原子力発電を推進する会社からの供給を拒否したい。(大阪府、女性、10,000～20,000 円、今より少々高くてもよい)

・今より安いに越したことはありませんが、多少高くなっても自然エネルギー発電を使う意義はあると思います。(神奈川県、男性、10,000～20,000 円、今より安いほうがよい)

・3.11 以降、東電と政府の情報を知るたびに他の供給源が欲しいと思っていました。食べ物も自然派に切り替えました。電力もそうしたいです。(東京都、女性、10,000～20,000 円、今と同額ならよい)

・法人代表者です。企業の社会への取り組みとして特に「脱・原発電力」を検討しています。今後の再稼働に反対を表明するために！(千葉県、男性、20,000 円以上、今と同額ならよい)

・節電の工夫ももっとしたい。再生可能エネルギーに変えたいし、支えたい。(東京都、女性、20,000 円以上、今より安いほうがよい)

以上

お問合せ：パワーシフト・キャンペーン事務局（FoE Japan 内、吉田明子）

<http://power-shift.org> TEL: 03-6909-5983 FAX: 03-6909-5986 Email: info@power-shift.org

・パワーシフト・キャンペーン 電力会社紹介はこちら

⇒ <http://power-shift.org/choice>

また、「次善の」電力会社もふくめ、電力会社を選ぶ際に注目すべき点をチェックリストにまとめました。こちらをご覧ください。

⇒ http://power-shift.org/check_list